

# プロに聞いた 美術館の楽しみ方

週末、美術館へ行ってみませんか。日常と違った雰囲気を楽しみ、その空間の中で好きな作品が一つでも見つけられたら、それだけで幸せな気持ちになれるかもしれません。美術館のプロに鑑賞を楽しむコツを聞いてみました。

## 美術館の知られざる魅力

美術館は、敷居が高く感じてしまいます…

浦田 難しく考えず、気軽に鑑賞してください。理解しようと思わなくていい、絵を見て心が安らいだり、さわやかな気持ちになったり、気分が変わるだけでもいいですね。

絵本原画展は、いつでも展示しているの

浦田 絵本原画展は、毎年夏休み期間中に開催しています。2000年の「田島征彦絵本原画展」から昨年の「ザ・キャビンカンパニー絵本原画展」まで、20回にわたり開催してきました。延べ2万3000人が来館しているんですよ。

絵本の世界観に浸れるような空間をお届けしよう

村上 毎回企画しています。図書館の絵本の貸し出し数や人気の作家を調べて内容を決めています。

原画展の魅力って、何ですか

浦田 絵本では見ることができないカットされた絵や作家のアイデアの跡など、原画でしか伝わらない作者の息遣いを感じる事ができるところです。また、印刷された絵からは想像

村上 「くらいだ」もありです。自分なりに楽しんでみてくれたら、うれしいですね。どのような作品を見る事ができますか

浦田 ブラジルのピカソとたたえられるマナブ間部氏やアメリカ画壇で活躍し、日本の近代絵画史に大きな足跡を残した野田英夫氏、独創的な発想で版画界の脚光を浴びた東京藝術大学名誉教授の野田哲也氏、現在会期中の世界的な写真家河野浅八氏など、地元ゆかりの芸術家たちの作品を多く収蔵し、展示しています。

村上 企画展や地元のもので、美術愛好家の絵画展、子どもたちの作品展など身近な人たちの展示会もあります。「同じ年代の人の作品を見て、自分も頑張ろうと思った」などの感想もお聞きしています。

浦田 美術館は緑に囲まれてるので、晴れた日にはウッドデッキでのんびり過ごしている人も。SLを見ることができるとも。貸し会場で、ご自身の作品を飾るのもいいですね。



学芸員 浦田 恭代さん 大学では現代美術を専攻。熊本県伝統工芸館勤務を経て宇城市へ。特技はタワーでの高所作業。  
学芸員 村上 明日香さん 大学では日本画を専攻。特技は展示キャプションボードの作成。今月号のイラストを全て手掛ける。

村上 できない細かな描き込みから伝わる雰囲気も味わいを深めます。原画の見応えはそれだけに刺激十分ですが、作家の話が直接聞けることも魅力の一つです。原画に見入っていると、まるで自分が絵本の中に溶け込んでいるかのよう。時には作者の貴重な小物が展示されることも。

村上 ずばり、大人も楽しめます。第一線で活躍している人気の絵本作家の原画を見る事ができ、会期中には本人によるワークショップも開催しています。プロと一緒にものづくり

浦田 もちろん子どもにとっても楽しいもの。ワークショップは親子で楽しんでいらっしやいますね。絵本の読み聞かせもあり、作家本人が物語を読んでくれることも。家でも読みたくなったら、併設の図書館には特集コーナーがあるので、本を借りて自由に楽しんでください。

浦田 今年は夏休みに「年内正幸展」を開催します。生き生きとした動物たちの躍動感あふれる展示を計画中です。皆さんお見逃しなく。詳しくは、次のページで紹介しています。

## ワークショップには 新しい発見がいっぱい

毎月開催されているワークショップ。手ぶらでふらっと訪れても、無料で参加でき、ものづくりを楽しめます。版画や写真の技法を実際に体験し、知ってもらうことで、展示会への理解をさらに深めることもできます。図書館との合同開催では、読み聞かせなどもあり、小さなお子さんと一緒に参加できますよ。



テレビや新聞の取材を受けることも  
作者本人による読み聞かせ  
あなたが絵本の世界へいざなう  
体がキャンバスに！趣向を凝らした版画

## VOICE ワークショップ参加者たちの声

奥田 直樹さん 「友人に誘われて国吉康雄絵画展のワークショップに参加しました。普段は油彩画を描いていますが、牛乳由来の絵の具カゼインを使う技法を初めて体験。世代を問わず楽しめますね」

七田さん兄弟 悟君 悠君 「色塗りをした紙をバスに貼るのが楽しかった」「家でもこの動くおもちゃで遊びたいな」

浦田さん一家 姫穂ちゃん 「好きな赤い色で塗ったよ。楽しかったよ」 篤史さん 菜奈さん 「工作が楽しめて、美術館にも行きやすくなるのが、ワークショップですね」